

# 第4回新たな総合福祉センターの 機能・設備に関する検討会

令和4年10月20日（木）  
調布市行政経営部・福祉健康部

## 第4回新たな総合福祉センターの 機能・設備に関する検討会

- 第1 検討会下半期の検討スケジュール（案）・・・・・・・・・・・・・・・・ 3ページ
- 第2 第3回検討会の実施結果等・・・・・・・・・・・・・・・・ 5ページ
- 第3 新たな総合福祉センターのユニバーサルデザインに関する基本的な考え方（案）・ 8ページ
- 第4 調布駅周辺の福祉機能（案）について・・・・・・・・・・・・・・・・ 11ページ
- 第5 京王多摩川駅周辺のアクセシビリティ（案）について・・・・・・・・ 16ページ
- 第6 新たな総合福祉センターの機能イメージ（案）・・・・・・・・ 20ページ



# 第1

## 検討会下半期の検討スケジュール（案）

---

- 1 検討会下半期の検討スケジュール（案）

# 1 検討会下半期の検討スケジュール（案）

## (1) 検討会下半期の検討事項

### ① アクセシビリティ・調布駅周辺の福祉機能

本検討会の検討事項としては、アクセシビリティや調布駅周辺の福祉機能についての基本方針、基本的な考え方の検討・整理を中心に行い、その結果を報告書にとりまとめることを目標とする。

### ② 報告書のとりまとめ

内容の検討, 精査

## (2) 検討会下半期の検討スケジュール(案)





**【第4回検討会】 ① アクセシビリティ(シャトルバスのイメージ), ② 調布駅周辺の福祉機能(イメージ)**

**【第5回, 第6回検討会】**

① アクセシビリティ(シャトルバス, 駅舎改善等の基本的な方向), ② 調布駅周辺の福祉機能(基本的な方向)

③ 報告書案の提示

**【第7回検討会】 報告書案のとりまとめ**

	4月～6月 第1四半期	7月～9月 第2四半期	10月～12月 第3四半期	1月～3月 第4四半期
① 平面プラン	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">平面プランの確定</div> 			
② 施設の設備のユニバーサルデザイン		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">設計への反映・確認</div> 		
③ 京王多摩川駅周辺（施設周辺環境）のアクセシビリティ			<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">設計への反映・確認</div> 	
④ 調布駅周辺の福祉機能, その他				

全体的な意見の取りまとめ

※ 上記のスケジュールは、今後の検討状況を踏まえて、適宜、調整することがあります。



## 第2

### 第3回検討会の実施結果等

---

- 1 実施内容
- 2 主な御意見（要旨）

## 1 実施内容

① 開催日時：令和4年8月3日（水）

② 主な検討項目

新たな総合福祉センターのゾーニングについて確認，新たな総合福祉センターのユニバーサルデザインの基本方針（案）の説明，意見交換等

### 【主な議事】

- 第3回検討会の実施結果等について
- 新たな総合福祉センターのゾーニング（案）について
- 新たな総合福祉センターのユニバーサルデザインの基本方針（案）  
について
- 意見交換

## 2 主な御意見（要旨）

### 設備に関する主な御意見

- 館内放送を文字化できるような電光掲示板を整備してほしい。
- 点字ブロックの敷設などについては、必ず当事者の意見を聞いてほしい。
- 標示については、色や男女の形がはっきりと区別できるなどの分かりやすさが大事である。
- トイレについては、重度心身障害児の方のためのユニバーサルベッドが必要である。
- 使いやすいトイレやストレッチャー対応のエレベーターなどについては、社会福祉協議会の意見も含めて、良い形で配置いただければと思う。

#### 【御意見を踏まえた市の対応】

利用者・関係団体等の意見を踏まえ、ユニバーサルデザインの基本方針（案）に基づき、設計等での反映を目指します。

### 機能に関する主な御意見

- 障害者・高齢者機能と合わせて、医療も使いやすい機能になれば良いと思う。
- 「更生保護の支援」という視点から、社会福祉協議会と連携しながら協力いただけるような施設としてほしい。
- 新たな総合福祉センターの交流機能については、「利用者間の交流機能」と「利用者と市民間の交流機能」の2面性をどのように表現するかが重要である。
- 2つの交流機能を表したときに「意識のユニバーサルデザイン」の点で、ソフトの充実やアクセスの整備など、「施設への近づきやすさ」をどのように確保していくかが大事であると思う。

#### 【御意見を踏まえた市の対応】

機能に関する御意見については、基本コンセプトである「地域共生社会を充実するための総合的な福祉拠点」を目指すため、新たな総合福祉センターの機能を整理する中で検討します。

☞ 本資料 p21

### 【検討会会長のまとめ】

- 更生保護も地域共生社会の重要なテーマなので、取り入れていただきたいと思う。
- ゾーニングについて、これまで議論を積み重ねてきたが、色々なご意見があって、それを反映した基本的なコンセプトが事務局から示されている。この検討会や各団体との意見交換の結果を踏まえて、本日事務局が説明した内容で確定したいと思う。詳細は、今後の実施設計の中で、皆さまのご意見を適宜伺っていただきたい。
- 次回の検討会までに事務局で精査していただいて、具体的な協議をさらに進めていただきたい。



## 第3

# 新たな総合福祉センターのユニバーサルデザインに関する基本的な考え方（案）

---

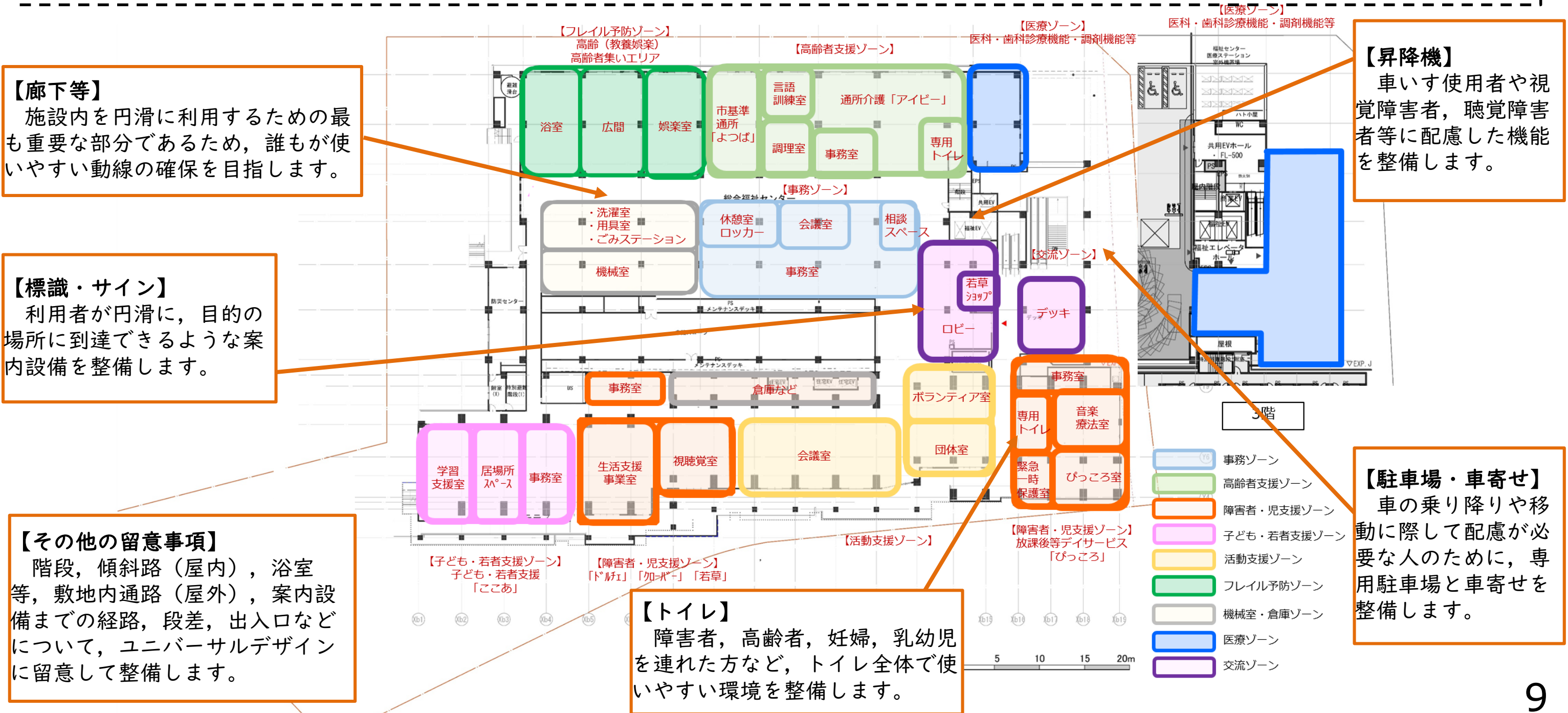
- 1 新たな総合福祉センターのユニバーサルデザインに関する基本的な考え方（案）
- 2 調布市総合福祉センター等の整備に関する基本協定について



## 第3回検討会の御意見

### ユニバーサルデザインの基本方針(コンセプト) (案)

ユニバーサルデザインの理念に基づき、高齢者、障害者、子ども等による多様な利用状況を踏まえて、ハード・ソフトの両面から必要な機能・設備を確保し、誰もが気軽に交流することができ、安全かつ安心して使いやすい施設の整備を目指します。



## 2 調布市総合福祉センター等の整備に関する基本協定について

調布市と京王電鉄株式会社は、調布市多摩川4丁目に京王電鉄株式会社が建設する建物への、調布市総合福祉センター、調布市医療ステーション、調布市布田老人憩の家の移転に向けた取組を進めるに当たり、今後、権利関係等について更なる協議を行うことと、互いの基本姿勢を確認するため、令和4年3月31日に「調布市総合福祉センター等の整備に関する基本協定」を締結しました。

### 調布市総合福祉センター等の整備に関する基本協定(概要)

||目的  
京王電鉄株式会社が調布市多摩川4丁目に建設する建物へ、調布市が公共施設を移転するために必要な基本的事項を定める

||移転する公共施設  
調布市総合福祉センター、調布市医療ステーション、調布市布田老人憩の家

||移転における権利関係等  
京王電鉄株式会社が建設する本件建物において、調布市は移転先に係る区分所有権とともに、当該区分所有権に応じた定期借地権を所有することを基本として、今後協議を行う  
本件建物の建設に関する事項、本件建物及び敷地における区分所有権及び定期借地権の設定については、協議のうえ、別に定める  
本件建物における公共施設等の整備に要した費用の支払いについては、協議のうえ、別に定める  
調布市総合福祉センター等の移転が中止となった場合、その費用負担に関してお互い真摯に対応し、協議を行う

||留意事項  
調布市は、令和4年2月に取りまとめた「総合福祉センターの整備に関する考え方」に基づき、次の各号について、施設利用者等の意見を広く聴き、その結果を計画に反映するよう努める。また、その結果の反映に際し、京王電鉄は調布市総合福祉センター等の整備の範囲において、真摯に対応する。

- ・調布市総合福祉センター等の基本機能の維持・向上
- ・本件建物へのアクセシビリティの向上・移動手段の確保
- ・本件建物のバリアフリー・ユニバーサルデザイン化
- ・本件建物の災害対応
- ・京王多摩川駅周辺のまちづくり
- ・調布駅周辺の福祉機能の整備
- ・その他、地域共生社会の充実及び調布市総合福祉センター等の機能整備に関して必要な事項



## 第4 調布駅周辺の福祉機能（案）について

---

- 1 調布駅周辺の福祉機能の整備方針（案）
- 2 これまでにいただいた調布駅周辺の福祉機能に関する主な御意見
- 3 調布駅周辺の福祉機能の候補地選定に関する基本的な考え方（案）
- 4 福祉機能の検討イメージ（案）

# 1 調布駅周辺の福祉機能の整備方針（案）

整備方針  
（案）の提示

これまでにい  
ただいた主な  
御意見

候補地選定の  
基本的な考え  
方（案）

検討イメージ  
（案）

基本方針・考  
え方の決定

## 総合福祉センターの整備に関する考え方 P29

### 調布駅周辺福祉機能の整備

調布駅周辺の公共・民間施設を活用することにより、以下の機能を整備します。

- ・ 交流・居場所機能
- ・ 調布市社会福祉協議会の出先機能・相談機能（移転後のセンターに繋がるようなフロント機能や福祉団体の支援機能等）
- ・ 遠隔相談システムの導入などにより、調布駅周辺の福祉機能と新たな総合福祉センターとの連携を図り、利用者が安心して相談できる環境を整備します。

※ 集会機能については、利用者や福祉関係団体の利用状況等を踏まえて、調布駅周辺の適地に整備します。

### 整備方針（案）

調布駅周辺の福祉機能については、新たな総合福祉センターの機能充実の観点から、そのフロント機能としての整備を目指します。また、利用者の利便性の確保や福祉サービスの効果的な提供、市役所をはじめとする調布駅周辺の公共施設等との機能連携の観点を踏まえて、必要な機能や規模について検討するとともに、適切な候補地の検討を進めます。

## 2 これまでにいただいた調布駅周辺の福祉機能に関する主な御意見

整備方針  
(案)の提示

これまでに  
いただいた主な  
御意見

候補地選定の  
基本的な考  
え方(案)

検討イメージ  
(案)

基本方針・考  
え方の決定

- 調布駅周辺の福祉機能については、調布駅からなるべく近くに確保してほしい。
- 調布駅周辺に残す福祉機能の中には、ユニバーサルベッド付きのトイレは必ず設置してほしい。
- 現在の総合福祉センターは、大きい車いすで入っても、商業施設とは違い、他の方にも気兼ねせずに使えスペースがあるので、総合福祉センターに行くとはっとするという方も多い。京王多摩川に移転した場合も、調布駅前には福祉エリアとして「オアシス」の機能を残してほしい。
- 相談窓口や団体が使えるロッカー等を調布駅周辺の施設等に確保してほしい。
- 今まで至近距離にあった市役所との連携は、移転後も確保してほしい。

### 3 調布駅周辺の福祉機能の候補地選定に関する基本的な考え方（案）

整備方針（案）の提示

これまでにいただいた主な御意見

候補地選定の基本的な考え方（案）

検討イメージ（案）

基本方針・考え方の決定

#### 調布駅周辺の福祉機能の整備に関する視点

	検討項目	検討の視点
1	アクセス（距離・立地）	調布駅からアクセスや利便性の良い立地を検討します。
2	ユニバーサルデザイン バリアフリー	① 調布駅周辺の福祉機能については、障害者や高齢者等の多様な利用者の状況を踏まえて、ユニバーサルデザイン・バリアフリーに配慮して整備します。 ② 調布駅からの動線については、アクセシビリティに配慮し、安全・安心かつ円滑な移動動線を確保します。
3	想定規模	新たな総合福祉センターの出先機能・相談機能、交流・居場所機能、集会機能等のフロント機能として、コンパクトな機能整備に必要な面積を確保します。
4	市の福祉サービス等との連動性	調布駅周辺の福祉機能の相談機能等と市の福祉サービス等を提供する窓口や公共施設との緊密な連携を図れる立地に整備することで、利用者の利便性向上を目指します。
5	用地確保の安定性	調布駅周辺の福祉機能を安定的に管理・運営するため、公共施設の活用を基本として検討します。
6	整備の時期	調布駅周辺の福祉機能の整備の時期については、総合福祉センターの整備スケジュールを踏まえたサービス提供に留意して検討します。



#### 【調布駅周辺の福祉機能の候補地選定に関する基本的な考え方（案）】

調布駅周辺の福祉機能の整備については、調布市役所及び敷地内の活用を視野に、市庁舎の長寿命化・狭あい化対策と併せて、総合的に検討します。

※ また、グリーンホールの更新を検討する中で、地域共生社会の充実にに向けた機能（交流スペース）を整備することについても、併せて検討します。

## 調布駅周辺の福祉機能の検討イメージ（案）

### I 交流・居場所機能

#### 【基本方針（案）】

交流・居場所機能については、「地域共生社会」や「パラハートちょうふ」の理念を踏まえ、ユニバーサルデザイン・バリアフリーに配慮しながら、誰もが利用しやすい機能を目指します。

- 福祉施設の製作物の展示・販売 など



### II 相談機能, 出先機能

#### 【基本方針（案）】

相談機能, 出先機能については, 市の福祉サービスと繋がる相談窓口として, コンパクトな機能整備を目指します。

- 簡易的な相談, コンシェルジュ機能
- 移転後のセンターに繋がるようなフロント機能 など



### III 集会機能

#### 【基本方針（案）】

会議室や団体室などの集会機能については, 新たな総合福祉センターの中で現行機能を維持するとともに, アクセシビリティや利便性を踏まえ, 調布駅周辺の福祉機能に会議室などを整備します。

- 会議等に活用可能なスペース
- 福祉イベント等の待機場所 など



※ 災害対応等に関する福祉避難所機能については、「総合福祉センターの整備に関する考え方」において、文化会館たづくり1階に要配慮者スペースを確保することとしています。



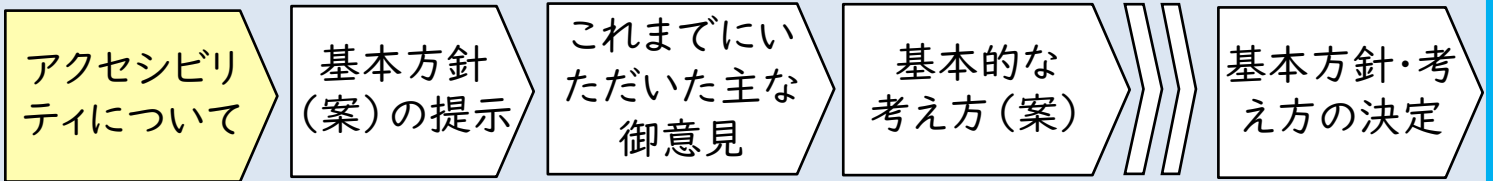
## 第5 京王多摩川駅周辺のアクセシビリティ（案）について

---

- 1 京王多摩川駅周辺のアクセシビリティ（案）について
- 2 アクセシビリティ（シャトルバス）に関する基本方針（案）
- 3 これまでにいただいた京王多摩川駅周辺のアクセシビリティ（シャトルバス）に関する主な御意見
- 4 アクセシビリティ（シャトルバス）の基本的な考え方（案）



# 1 京王多摩川駅周辺のアクセシビリティ（案）について



## シャトルバスの運行

## 総合福祉センターの整備に関する考え方 p24

## 今回の検討事項

### 移動手段の整備

「調布駅周辺～京王多摩川駅前」間の巡回を想定した無料シャトルバスや事業の実施状況等に応じた無料の送迎サービスなどの移動手段を検討します。

## 重点整備地区の取組

## 総合福祉センターの整備に関する考え方 p24

### 地域共生社会の充実に向けたまちづくりの推進

- ・京王多摩川駅周辺地区を次期調布市バリアフリー基本構想\*の「重点整備地区」に位置付けます。
- ・京王多摩川駅から施設までの道路の段差解消等まちづくり全体における移動等円滑化に取り組みます。

## 京王多摩川駅舎に関する取組

## 総合福祉センターの整備に関する考え方 p25

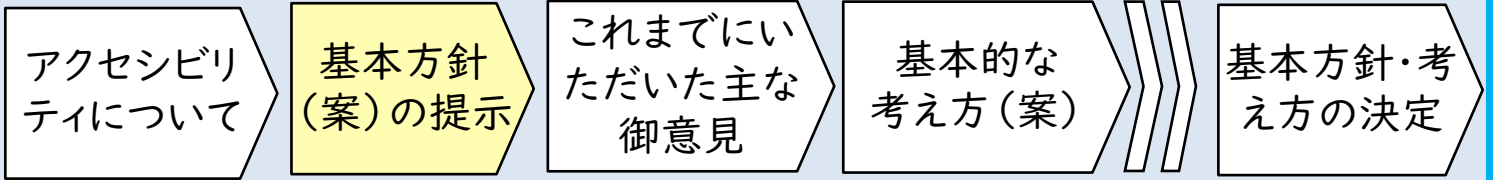
### 京王多摩川駅舎の利便性向上

京王多摩川駅舎のアクセシビリティ・利便性の向上に向けて、京王電鉄株式会社と協議を重ねた結果、次期調布市バリアフリー基本構想\*と関連して以下の取組が示されています。

対象施設	項目	事業の内容	実施時期
京王多摩川駅	全体	施設・設備の更新に併せて以下のバリアフリー化検討を行います。また、実施時期等については市と協議します。 ○視覚障害者誘導用ブロックのJIS規格への統一、敷設位置の調整 ○エレベーターの更新・大型化 ○券売機の蹴込み設置 ○車いす使用者用トイレの更新と一般トイレへの機能分散化	検討中
	ホーム	可動式ホーム柵の設置・ホームと車両の段差や隙間を縮小します。	検討中
	車両	車両のバリアフリー化を推進します。	継続
	案内・情報バリアフリー	筆談器の設置を示す案内を掲示します。	継続
	教育啓発・こころのバリアフリー	駅係員、乗務員のバリアフリー教育を推進します。 エレベーター・エスカレーターやトイレ等における利用ルールやマナー、バリアフリーの取組等を周知する情報提供を実施します（ポスター・ホームページ等）。	継続

※ 「調布市バリアフリー基本構想」は令和4年4月に策定

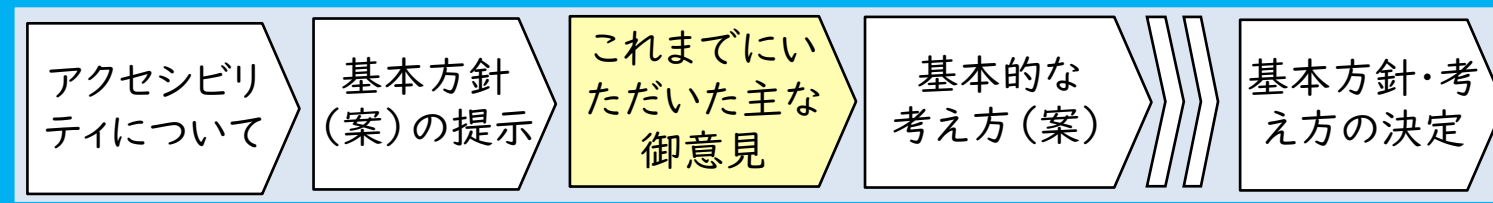
## 2 アクセシビリティ（シャトルバス）に関する基本方針（案）



### 基本方針（案）

シャトルバスについては、車いす利用者などの円滑な移動に配慮が必要な方が利用できる機能・設備を備えるとともに、現在の総合福祉センターの利用者の状況や事業の実施状況を踏まえながら、アクセシビリティを確保するための移動手段として整備します。

## 3 これまでにいただいた京王多摩川駅周辺のアクセシビリティ（シャトルバス）に関する主な御意見



- シャトルバスは、車いすがそのまま乗れるものを用意していただきたい。
- 車いすしか乗れないと、他の乗客スペースがなくなるなど、非常に難しい調整だと思うが、皆が良いと思う形にしてほしい。
- 京王多摩川駅へのシャトルバスを運行してほしい。また、シャトルバスは車いすのまま乗車できる車両としてほしい。

## 4 アクセシビリティ（シャトルバス）の基本的な考え方（案）

アクセシビリティについて

基本方針（案）の提示

これまでにいただいた主な御意見

基本的な考え方（案）

基本方針・考え方の決定

### （1）運行経路

調布駅周辺から新たな総合福祉センターまでの運行を想定しています。

### （2）運行間隔

福祉サービスや実施事業、各種会議等の実施時間や参加人数など、現在の総合福祉センターの多様な利用者の状況等を踏まえ、適切な便数のシャトルバスを整備します。

### （3）発着場所（停留場所）

調布駅周辺の発着場所は、待機スペースや市役所の福祉サービスの利用、他の公共施設等の利用を踏まえて、調布駅周辺の福祉機能の立地と連動して検討します。

### シャトルバスイメージ（案）





## 第6 新たな総合福祉センターの機能イメージ（案）

---

- 1 新たな総合福祉センターの機能イメージ（案）

地域共生社会を充実するための総合的な福祉の拠点

意識のユニバーサルデザインの醸成

以下の取組を推進することにより、利用者や地域住民をはじめとする調布市民が入館しやすい環境を確保し、「意識のユニバーサルデザイン」を醸成する。

- ・ ユニバーサルデザインに配慮した誰もが使いやすい施設整備を推進
- ・ アクセシビリティ（交通の利便性、利用しやすさ等）の確保
- ・ 案内機能や相談機能などのソフト面の機能充実を推進
- ・ 地域共生社会の充実に向けた交流スペースなど開放的な空間を確保
- ・ ワンフロア化による交流機能・連携強化の推進

など



地域住民をはじめとする調布市民

商業施設の利用

事業以外の利用

医療機能

市民間の交流機能

調布駅周辺の福祉機能

休日夜間急患診療や障害者歯科診療の実施等による利便性の向上

ICTを活用した相談機能等を整備し、新たな総合福祉センターと連携を図ることによる利便性の向上

新たな総合福祉センターの利用者

フレイル予防機能

高齢者支援機能

活動支援機能

利用者間の交流機能

障害者・児支援機能

子ども・若者支援機能